

モン太の植物観察コーナー

「上高津貝塚七不思議その一」 <No.5> 2014/12/18

丸いドングリをつけるクヌギは落葉広葉樹なのですが、、
広場には葉が落ちないクヌギがあります。

クヌギ、カシワ、コナラなどのブナ科の一部には、冬の落葉の季節になっても、
枝についたままで冬を越すという現象がしばしば見られるそうです。

広場の掘立柱建物そばにあるクヌギ2本のうち、右側は12月には落葉してしまいましたが、
左側は枯れた葉が3月あたりまで着いたままだそうです。同じ環境で育っている
はずですが、不思議な現象です。木の出身地（遺伝系統）が違うのかもしれません。

3月まで見逃せませんね。



2014/11/18撮影 掘立柱建物そば
紅葉した2本のクヌギ。



2014/11/29撮影 掘立柱建物そば
右側のクヌギの葉がだんだん落ちてきました。



2014/12/17撮影 掘立柱建物そば
左側のクヌギは葉がたくさんついていますが、
右側はほとんど落ちてしまいました。



2014/12/10撮影 左側の葉のついたクヌギ
葉を取ってみると、緑色の生きた組織が
残っています。維管束でまだつながって
いる証拠です。